

寿湯だより7月号

発行日 平成24年07月01日

NO. 71

作成者 長沼 雄三

住所 東京都台東区東上野5-4-17
銀座線稲荷町駅徒歩2分 JR 線上野駅徒歩10分
電話 03-3844-8886
HP アドレス <http://www7.plala.or.jp/iiyudana/>

料金 大人450円 小学生180円 幼児80円
サウナ プラス200円 タオルセット50円
リンズインシャンプー・ボディーソープ無料
営業時間 12:00~深夜1:30 (最終受付1:05)
定休日 第3木曜日 (祝日の場合前日水曜)

生アロエ湯

7月15日の日曜日は薬湯と露天風呂が生アロエ湯に！当店初めての試みです。当日は先着750名様にヤクルトプレゼント！

高齢者入浴券使用できます。

当店では台東区役所発行の高齢者入浴券がご利用いただけます。ご利用の際は1枚につき50円の負担となります。有効期限は平成25年3月31日までとなっております。新規のお客様は直接区役所2階の高齢福祉課にてお申し込み下さい。

*店主からのひとこと

今月の7月27日はいよいよ待ちに待ったオリンピックの開幕です。みなさんいろいろなスポーツの応援を楽しみにしていると思いますが私の中ではやはり陸上競技が一番の注目です。ジャマイカのボルトや波に乗っているアメリカ勢ガトリンなどの100M走は世界記録が期待されます。日本人では400Mハードルの岸本(法大)や、やり投げのディーン元気(早大)、村上(スズキ)などにメダルを狙って欲しいところです。ただ寂しい部分では中長距離の選手が世界の上位で戦える実力でないこと。箱根駅伝で大活躍した佐藤悠基が1万Mに出場しますが厳しいでしょう。なかなかアフリカ勢には太刀打ちできません。日本人とアフリカ勢ではもともと持っている遺伝子が違うから仕方がないと考える人も多いでしょう。でも今から15年前にそれを覆すような伝説の高校生がいたのです。彼の名は佐藤清治、高校駅伝で有名な長野県佐久長聖高校の選手でした。華々しいデビューは高校1年の97年7月。なんと1年生で1500Mを3分44秒という日本人高校生初めての45秒切りを達成したのです。当時はネットなどない時代でそんな噂だけが私たち陸上関係者に流れ始めます。考えられない記録で信じられませんでした。その後すぐにインターハイで並みいる3年生の強豪を相手に優勝し本当だと分かりました。2年生になると今度はケニア人留学生が持っていた1500Mの高校記録を塗り替え、冬には初めて高校駅伝でメディアの前にその走りを披露しました。3キロ区間を7分55秒という驚異的な記録で駆け抜けたあの姿は今でも私の中で忘れられません。そして3年生になった99年には3分38秒49までタイムを伸ばします。現在でも45秒を切った日本人高校生ランナーはいませんしケニア人留学生でも40秒を切れません。それ↑

薬湯の予定 7月

1	日	塩ミント	16	月	レモン
2	月	グレープフルーツ	17	火	ラベンダー
3	火	アロエ	18	水	甘草
4	水	紫根	19	木	定休日
5	木	ハイビスカス	20	金	玉露カテキン
6	金	レモン	21	土	ひまわり
7	土	ラベンダー	22	日	グレープフルーツ
8	日	甘草	23	月	アロエ
9	月	玉露カテキン	24	火	紫根
10	火	塩ミント	25	水	スイカ
11	水	グレープフルーツ	26	木	レモン
12	木	アロエ	27	金	ラベンダー
13	金	紫根	28	土	甘草
14	土	ハイビスカス	29	日	玉露カテキン
15	日	生アロエ湯	30	月	ひまわり
			31	火	グレープフルーツ

*上記は生アロエ湯を除き全て入浴剤を使用します。

↓だけすごい記録です。そして秋には調整で出た5000Mで日本人高校最高の13分47秒、ここまできると佐藤はなんでもやってくれそうだと誰もが期待を持ちました。なんと佐藤は100Mも10秒台で走れます。10秒台で走れるランナーが5000Mを13分台で走るのですから。そして最後の高校駅伝、全国の陸上関係者が期待していたのは花の1区10キロでケニア人留学生に佐藤が勝つことでした。しかしそんなときある情報が流れます。佐藤は自宅の階段から落ちて目を怪我したと。それが本当で駅伝の前に練習ができず出場は距離の短い5キロ区間でした。もちろん区間1位でしたが本来の走りではなくケニア人との対決もありませんでした。佐久長聖の監督だった両角さんは今でも「佐藤は高校のとき寮に強引でも入れておけば怪我はなかったのに」と悔やんでいるそうです。そしてその後もう一つ課題が残ります。この日本の宝を誰が引き継ぎ育てるか？そして決まったのが沢木監督率いる順天堂大学。入学直後こそ結果を残しましたが1年生の夏から練習で怪我をするようになり2年生ではそれまで負けなかった日本人に負け3年生で姿を消します。そしてそこから二度と彼の名前を競技場で聞くことはありませんでした。環境の変化に順応できなかったのでしょうか？両角さんは「あの当時だからできなかったが、今なら高校卒業後も佐藤の面倒を見ていた。100年に1度しか出ない選手。」と悔やんでいます。順調にいったら今回のオリンピックでもケニア人と争っていたことでしょう。日本人に夢をくれた伝説のランナー、彼のような選手が再び出ることを期待したいです。